

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

### 事 業 名 【新】酪農研究部フリーストール牛舎換気扇改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,631 千円 (前年度予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,631	0	0	0	0	0	0	0	11,631
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

畜産研究所酪農研究部のフリーストール（FS）牛舎は搾乳システム舎に続く牛舎で平成8年3月竣工の建物である。FS牛舎では搾乳中のホルスタイン種を飼育し、毎日、1日2回搾乳を行っている。ホルスタイン種は暑さに弱いため、暑熱対策は大変重要である。地球温暖化の影響により建築当初と比較すると恵那市も気温が上昇しており、令和2年には細霧システムを追加し、暑熱対策を強化した。しかし、この酷暑の中、換気扇をフル回転すると、オーバーヒートで停止する不具合が発生しているため、やむをえず回転数を落とすとして運転しなければならず、本来必要な暑熱対策ができない状態にあり、乳牛にとっては大変厳しい状況になっている。暑熱により夏季乳量および繁殖成績の低下に加え、性判別胚供給事業で譲渡する雌胚の生産が予定どおりできないなど試験研究および事業に支障をきたしている。FS牛舎で飼養管理を行う職員も暑熱環境にさらされることになる。今後想定される酷暑に耐える暑熱対策として換気扇の交換および増設をし、長年育種改良してきた乳牛を暑熱環境から守ることが急務である。

### (2) 事業内容

畜産研究所酪農研究部のFS牛舎について令和8年度当初予算により工事費を計上する。

- ・工事請負費 11,631千円

(3) 県負担・補助率の考え方

・県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	11,631	FS牛舎の換気扇改修工事を実施するための工事請負費
合計	11,631	

**決定額の考え方**

県有施設の総点検結果を踏まえてから、実施の検討をすることとし計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

なし

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
畜産研究所酪農研究部のフリーストール牛舎について、令和8年度中に換気扇交換工  
事を実施したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①設計委託						100%
②工事					1	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	
令和 5 年度	
令和 6 年度	令和8年度当初予算にて追加
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり  
2:期待どおりの成果あり  
1:期待どおりの成果が得られていない  
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由  
や期待する効果 など